

令和2年3月6日

第97回 神戸市個人情報保護審議会

教員等採用選考試験の電子申請
受付事務のシステム化について

(教育委員会事務局)

神教委教第 4250 号
令和 2 年 3 月 2 日

神戸市個人情報保護審議会
会長 西村 裕三 様

神戸市教育委員会
教育長 長田 博



諮 問

神戸市個人情報保護条例第 11 条第 1 項及び第 2 項の規定に基づき、下記の事項について
貴会の意見を求めます。

記

教員等採用選考試験の電子申請受付事務のシステム化について
(条例第 11 条「電子計算機処理の制限」に関して)

担当：教育委員会事務局総務部教職員課

教員等採用選考試験の電子申請受付事務のシステム化について
(条例第 11 条「電子計算機処理の制限」に関して)

◎は条例第 11 条第 2 項に該当

【全職種共通】

到達番号

問い合わせ番号

申請年月日

申請者：氏名《フリガナ・漢字》

申請者：生年月日《元号・年・月・日》

申請者：性別【男・女】

申請者：現住所《郵便番号・住所》

申請者：受験票送付先《郵便番号・住所》

申請者：メールアドレス《郵便番号・住所》

申請者：電話番号

申請者：携帯電話

緊急連絡先：氏名《漢字》

緊急連絡先：現住所《郵便番号・住所》

緊急連絡先：続柄

緊急連絡先：電話番号

学歴：高等学校名・大学名・大学院名《自由記入》

学歴：高等学校・大学・大学院の卒業・修了・見込【卒業・終了・見込】

学歴：在学期間開始年月《年・月》

学歴：在学期間終了年月《年・月》

職歴：在職期間《在職開始年月・在職終了年月》

職歴：在職期間合計《年・月》

職歴：勤務先名《自由記入》

職歴：雇用形態等【正規教員・非正規教員・正規社員等・非正規社員等】

自己 PR：自己紹介、経歴に関すること等《自由記入》

志望動機：志望理由等《自由記入》

◎受験時に必要な配慮について：内容《自由記入》(希望者のみ)

【教員・実習助手共通】

クラブ・部活動・ボランティア活動歴等（中学校）：部活動名等《自由記入》

クラブ・部活動・ボランティア活動歴等（中学校）：活動開始期間・活動終了期間《年・月》

クラブ・部活動・ボランティア活動歴等（中学校）：活動役割等《自由記入》

クラブ・部活動・ボランティア活動歴等（中学校）：活動内容等(出場大会名・入賞・入選他)
《自由記入》

クラブ・部活動・ボランティア活動歴等（高等学校）：部活動名等《自由記入》

クラブ・部活動・ボランティア活動歴等（高等学校）：活動開始期間・活動終了期間
《年・月》

クラブ・部活動・ボランティア活動歴等（高等学校）：活動役割等《自由記入》

クラブ・部活動・ボランティア活動歴等（高等学校）：活動内容等(出場大会名・入賞・入選他)
《自由記入》

クラブ・部活動・ボランティア活動歴等（大学等）：部活動名等《自由記入》

クラブ・部活動・ボランティア活動歴等（大学等）：活動開始期間・活動終了期間《年・月》

クラブ・部活動・ボランティア活動歴等（大学等）：活動役割等《自由記入》

クラブ・部活動・ボランティア活動歴等（大学等）：活動内容等(出場大会名・入賞・入選他)
《自由記入》

学校教育に関連した経験等：経験内容《自由記入》

卒業論文テーマ・卒業記念制作等：内容《自由記入》

特技・資格：内容《自由記入》

特技・資格：市民救命士資格【有・無】

運転免許：【有・無】【普通自動車・自動二輪・原付】

その他の免許：内容《自由記入》

【教員】

最終学歴：最終学歴校の設立【国立大学法人・公立・私立・その他】

最終学歴：最終学歴校の種別【大学院(博士課程)・大学院(修士課程)・教職大学院(修士課程)・大学・短期大学(短期大学部)・その他】

最終学歴：最終学歴校の養成【教育大学(単価大学)・教育学部・他の学部学科等】

最終学歴：大学(大学院)名《コード入力》

最終学歴：学部(研究学科)名《自由記入》

最終学歴：卒業(修了・見込)日《元号・年・月・日》

通信聴講等：大学(大学院)名・学部(研究学科)名《自由記入》(選択者のみ)

通信聴講等：卒業(修了・見込)日《元号・年・月・日》

選考区分等：選考区分【一般・社会人・現職・臨時】

◎選考区分等：大学推薦特別選考・障害者特別選考(希望者のみ選択)

選考区分等：任期付希望【有・無】

選考区分等：1次試験免除希望【任期付合格済・有・無】

選考区分等：昨年度受験番号(1次試験免除希望：有 選択者のみ)

試験区分等：試験区分【小学校・中高・特支・高校(工・商)・幼稚園・養護・栄養】

試験区分等：教科名【小学校・小学校英語コース・高等学校工業・高等学校商業・幼稚園・養護教諭・栄養教諭・中高国語・中高社会・中高数学・中高理科・中高音楽・中高美術・中高保体・中高技術・中高家庭・中高英語】

試験区分等：選択科目等【柔道・剣道・ダンス】

(試験区分：中高、教科名：保健体育 選択者のみ)

試験区分等：希望校種(中高)【どれでもよい・第一希望中学・第一希望高校】

(試験区分：中高 選択者のみ)

試験区分等：希望校種(養護)【どれでもよい・第一希望幼・第一希望中・第一希望小・第一希望高】(試験区分：養護 選択者のみ)

加点制度利用：英語加点【有・無】

加点制度利用：特支加点【有・無】

加点制度利用：複数免許加点【有・無】

加点制度利用：日本語指導に関する加点【有・無】

小中高特支併願：希望【有・無】

小中高特支併願：併願希望先1・併願希望先2【小・小英・中高・特支】
(希望有 選択者のみ)

選考区分要件：社会人【①・②】

選考区分要件：臨時【ア・イ】

職歴：職歴区分【新規学卒・教職経験(正規)・教職経験(臨時)・民間企業等勤務・その他】

職歴：神戸市立学校園勤務校《コード入力》(令和2年4月1日時点 対象者のみ)

職歴：選考区分の要件に適用《チェックボックス》

職歴：教科【小学校・高等学校工業・高等学校商業・幼稚園・養護教諭・栄養教諭・中高国語・中高社会・中高数学・中高理科・中高音楽・中高美術・中高保体・中高技術・中高家庭・中高英語】

(雇用形態：正規教員・非正規教員 選択者のみ)

職歴：産育休等休職期間《休職開始年月・休職終了年月》

職歴：休職期間合計《年・月》

教員免許状：校種【小学校・中学校・特別支援学校等・高等学校・幼稚園・養護教諭・栄養教諭・司書教諭】

教員免許状：種類【専修・一種・二種・その他】

教員免許状：教科等【小学校・特別支援・幼稚園・養護・栄養・司書・国語・社会・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・工芸・書道・保健体育・保健・技術・家庭・英語・ドイツ語・フランス語・その他外国語・看護・看護実習・工業・商業・情報・福祉・その他の教科】

教員免許状：取得状況【所有・取得見込】

教員免許状：取得年月《元号・年・月》

賞罰：【有・無】

賞罰：内容《自由記入》(賞罰有 選択者のみ)

教員採用試験受験の有無：昨年度受験【神戸市・兵庫県・他都市】

教員採用試験受験の有無：他都市名《自由記入》(他都市 選択者のみ)

教員採用試験受験の有無：今年度受験【神戸市・兵庫県・他都市】

教員採用試験受験の有無：他都市名《自由記入》(他都市 選択者のみ)

臨時的任用教員の希望(複数選択可)：【神戸市立幼稚園・神戸市立小学校・神戸市立中学校・神戸市立高等学校・神戸市立特別支援学校・なし・他都市で登録】

小学校及び特別支援(小)志願者：ピアノ演奏の可否【ほとんど弾けない・バイエル程度・ソナチネ・ソナタ・その他】

中高・高校・特別支援(中高)の志願者：指導できる部活動2つ《自由記入》

【実習助手】

最終学歴：大学(大学院)名《コード入力》

最終学歴：学部(研究学科)名《自由記入》

最終学歴：卒業(修了・見込)日《元号・年・月・日》

通信聴講等：大学(大学院)名・学部(研究学科)名《自由記入》(選択者のみ)

通信聴講等：卒業(修了・見込)日《元号・年・月・日》

免許状：資格内容《自由記入》

免許状：資格取得状況【所有・取得見込】

免許状：資格取得年月《元号・年・月》

賞罰：【有・無】

賞罰：内容《自由記入》(賞罰有 選択者のみ)

民間企業や他の学校園等での就職活動状況：内容《自由記入》

【事務職員】

◎試験区分・選考：【大学卒／短大卒・高校卒／社会人／障害者特別選考】

資格など：資格等《自由記入》

成績開示希望：【有・無】

職歴：職務内容《自由記入》

教員等採用選考試験の電子申請受付事務のシステム化について

1. 趣旨

行政職の職員採用試験の申込については、電子申請を平成 18 年度より導入・運用しており、近隣他都市の教員採用試験においても近年は出願の電子申請化が進んでいる。

自宅にいながら出願手続きができる電子申請受付システムの導入は、志願者の利便性向上につながり、ひいては志願者の増加も期待できる。また、電子申請により志願者の情報は自動でデータ化されるため、紙媒体から手動でデータ化する手間が省け、事務負担の軽減につながる。

2. 概要

兵庫県及び県下の市町では、電子申請システムを共同で利用するため、「兵庫県電子自治体推進協議会」を設立し、同協議会が開発、運用する「兵庫県電子申請共同運営システム」を共同利用している。

本件も、当該システムを利用する。

- ① 受験者が電子申請システムを利用するための事前登録を行い、「申請者 ID」が受験者へ電子メールで送られる。
- ② 受験者が受験を申し込む。その際に「申請者 ID」及び受験者が事前登録で設定した「パスワード」が必要になる。
- ③ 申込内容を確認の上送信すると、到達確認通知画面が表示される。これには今後取扱状況を照会する時などに必須となる「到達番号」と「問合せ番号」が記載されている。
- ④ 職員側が電子申請システムにアクセスし、受験資格の確認等を行う。必要があれば補正要求を行う。
- ⑤ 申請内容に問題がない場合は電子メール《審査終了通知》により受験生に審査終了を通知する。
- ⑥ 受験生は電子申請システム上の審査終了通知に添付されている「受験票」、「志願書類」を印刷する。
- ⑦ 受験生は「志願書類」の所定欄に写真の貼付及び署名の後、教育委員会に郵送する。
- ⑧ 教育委員会は「志願書類」を回収する。

以降、試験の流れは現行と同様である。

3. 効果

- ①自宅にしながら出願手続きができる電子申請受付システムの導入は、志願者の利便性向上につながり、ひいては志願者の増加も期待できる。
- ②電子申請により志願者の情報は自動でデータ化されるため、紙媒体から手動でデータ化する手間が省け、事務負担の軽減につながる。

4. 実施計画

令和2年3月上旬～ システムの設計、プログラムの改修、運用テスト

令和2年4月中旬～ 運用開始

5. 処理件数

約2,500名(見込)

参考：(直近実施分)

2,226名(2019年実施教員採用選考試験志願者数)

13名(令和2年度採用実習助手採用選考試験志願者数)

122名(令和2年度採用教育事務職員採用選考試験志願者数)⇒合計2,361名
(前回実施分)

2,355名(平成31年度採用教員採用選考試験志願者数)

3名(平成31年度採用実習助手採用選考試験志願者数)

205名(平成31年度採用学校事務職員採用選考試験志願者数)⇒合計2,563名

6. 個人情報の保護

「神戸市個人情報保護条例」及び「電子計算機処理にかかるデータ保護管理規程」に基づき、以下のとおり厳格に対処する。

本件事務の所管課長は、個人情報にかかるすべてのデータについて、電子計算機、端末機の操作管理、使用状況の管理、通信回線に伝送するときの措置、保安措置などを適正かつ厳格に行う。

(1) システム上の保護

- ① 申請データ受付時に到達番号と問合せ番号(IDとパスワードに相当)を申請者に発行し、申請者以外の者の申請・届出データへのアクセスを制限している。
- ② IDとパスワードにより、職員にアクセス制限をかけ、当該手続の担当職員以外は申請・届出データにアクセスすることができない。
- ③ 個人情報にかかるデータは、システム側の入退室制限を設けた保管施設に設置されているサーバで一括管理する。
- ④ 電子申請受付システムは共同運営システムとして構築するため、他団体ともサーバ機

器等を共有することになるが、他団体からのアクセスを自動的に判断し、制止する。

- ⑤ 申請者のパソコンと申請・届出データを受け取るサーバ間は暗号化通信を行い、通信途中での漏えいと改ざんを防止する措置を施している。
- ⑥ 外部からの不正アクセスを阻止するファイアーウォール（外部侵入防止装置）を設けるとともにウィルスからの感染を防ぐ措置を講じている。

（２） 運用上の保護

- ① 個人情報の適正な取扱を確保するために、関係職員に対して必要な研修及び指導を行うとともに、個人情報の適正管理について点検を行う。
- ② パスワードは定期的に変更するとともに、サーバへの操作状況（アクセス状況等）を常時監視・記録する。
- ③ 保存年限を経過したデータは、速やかに消去し、データ記録媒体は記録内容を復元できない状態にして廃棄する。

